

Anthropic 「Claude Haiku 5.5」 発表の分析報告

エグゼクティブサマリー

Anthropicは2026年10月7日付で「Claude Haiku 5.5」を発表した。公式表現は“**the cheapest, fastest, and most capable small model we’ve ever released.**”であり、狙いは明確に、分類・抽出・要約・ルーティング・サブエージェント・ライブサポート・ブラウザ操作などの**高頻度・低遅延・コスト感応型ワークロード**である。Reutersの配信時刻は10月7日18:06 UTC、すなわち日本時間では**10月8日03:06**で、日本語メディアも10月8日に報じている。 ¹

最重要な訂正点は、ユーザー指定の「Haiku 5.0/5.1/5.4」との比較である。 Anthropicの公式移行資料は明示的に「Claude Haiku 4.5 → Haiku 5.5」の差分を説明しており、現行公式資料でHaiku 5.0、5.1、5.4という公開モデルは確認できない。したがって本報告では、これらを架空の中間版として補完せず、「**未記載（公式公開版を確認できず）**」とし、実質的な前世代比較は2025年10月15日公開のHaiku 4.5を基準とする。 ²

技術面の本質は、単なる価格改定ではない。Haiku 4.5の**200Kコンテキスト／64K最大出力**から、5.5では**1M／128K**へ拡張され、Haikuとして初めて**adaptive thinking+effort**制御を搭載した。新たにbrowser-useをサポートし、computer-useのツールセットも更新された。一方、モデルの**パラメータ数、具体的なネットワーク・アーキテクチャ、Haiku 5.5固有の学習データ構成、RLHF/RLAIF等の具体的なpost-trainingレシピは、10月8日時点で公開HTML資料には未記載**である。AnthropicのTransparency Hubは10月2日更新でHaiku 5.5発表より前であり、Haiku 4.5についてはRLHF+AI feedbackまで開示しているのに対し、5.5では同水準のモデル報告がまだ反映されていない。 ³

性能はHaiku 4.5から大幅に上がっている。Anthropicが同一表で示したところでは、**GDPval-AA 1620 vs 735、OSWorld 72.4% vs 15.7%、HLE 45.9% vs 10.2%（ツールなし）、Terminal-Bench 39.2% vs 0.0%、Chartography 46.4% vs 6.4%**である。さらに2026年のより適切な直接競合である**GPT-6 Luna**に対しても、Anthropicが掲載したGDPval-AA、AA-Briefcase、OSWorld、Terminal-Bench、FrontierCode、Chartographyの全てでHaiku 5.5が上回る。ただし、これらはAnthropicが選定・掲載した結果であり、完全な第三者同一ハーンズ比較と同義ではない。 ⁴

独立評価ではArtificial Analysisが、**Haiku 5.5 MaxをIntelligence Index 43、生成速度241.9 tokens/s**と測定している。非常に重要な注意点として、同サイトのTTFTは**432.21秒**と極端に長い。これは「Max」推論設定で、同指標が推論時間を含むためである。Anthropicの標準設定は `medium` であり、この値を通常のチャット初動レイテンシと解釈するのは不適切である。現時点では、**Haiku 5.5固有の数値化されたhallucination rateや、標準設定での独立RPS/throughput評価は未記載／未成熟**と判断するのが妥当である。 ⁵

価格面では、10万トークン以下のプロンプトなら**入力\$0.10／出力\$0.50 per 1M tokens**でHaiku 4.5の\$1/\$5から90%低下し、Anthropicは実ワークロードを考慮した平均実行コストを約75%減とする。これはGPT-6 Lunaと基準価格が完全に同じで、Mistral Small 4の\$0.15/\$0.60より低い。ただしHaiku 5.5は**プロンプトが100Kを超えると\$0.50/\$2.50へ5倍になる**のに対し、GPT-6 Lunaの長文割増開始は272K超である。したがって「Haiku 5.5が常に最安」という理解は誤りで、特に100K超の長文RAGではLunaとの経済性が逆転する可能性が高い。さらに新Tokenizerにより同一テキストがHaiku 4.5比で約30%多いトークンになるため、**単価ではなく“成功タスク当たり総コスト”で比較すべきモデル**である。 ⁶

市場面では、発表当日にGitHub CopilotでGAとなり、Claude APIに加えAWS、Google Cloud、Microsoft Foundry/Azureで提供されていることから、単なる低価格チャットモデルではなく、**大量のサブエージェントを並列稼働させる「worker tier」**を狙った製品と見るのが最も整合的である。Sonnet/Opusは複雑な agentic codingを維持し、Haikuを大量の限定タスクへ振り分ける階層型アーキテクチャがAnthropic自身の推奨と一致する。 7

公式発表と技術的な差分

Anthropicの[公式発表](#)は、Haiku 5.5を高ボリューム・コスト感応型処理向けと位置付け、要約、compaction、DB query、分類、ライブサポート、browser use、コーディング用サブエージェントを主用途としている。また安全性についてはHaiku 4.5比で **“far fewer instances of misaligned behavior”** と述べている。 8

Haiku世代の技術差分

項目	Claude Haiku 4.5	Claude Haiku 5.5	Haiku 5.0 / 5.1 / 5.4
公式公開	2025-10-15	2026-10-07	未記載（公式公開版を確認できず）
モデルの位置付け	small/fastのhybrid reasoning LLM	高量・低遅延向け最新Haiku	未記載
パラメータ数	未記載	未記載	未記載
詳細アーキテクチャ	未記載	未記載	未記載
Context	200K	1M	未記載
最大通常出力	64K	128K	未記載
Batch最大出力	未記載	300K beta	未記載
推論制御	manual extended thinking	adaptive thinking、effort、default=medium	未記載
Training / knowledge cutoff	Feb. 2025	Jun. 2026	未記載
学習データ	公開Web、第三者非公開データ、labeler/contractor、opt-in user data、内部生成データ等	具体的構成は未記載	未記載
RLHF等	RLHF + AI feedbackを明記	具体的手法は未記載	未記載
Instruction/post-training	substantial post-training/fine-tuning	具体的レシピは未記載	未記載
画像入力	対応	対応	未記載

項目	Claude Haiku 4.5	Claude Haiku 5.5	Haiku 5.0 / 5.1 / 5.4
API出力	text	text	未記載
Browser use	非対応	新規対応：Claude API / Google Cloud	未記載
Computer use	computer_20250124	computer_toolset_20260801	未記載
Safety API挙動	従来挙動	stop_reason:"refusal"、server-side fallbackなし	未記載
Tokenizer	旧Haiku tokenizer	Claude 4.7以降系。同文で約30%多いtoken	未記載

出典：AnthropicのHaiku 5.5 overview、What's New、Migration Guide、Haiku 4.5 Transparency Hub。

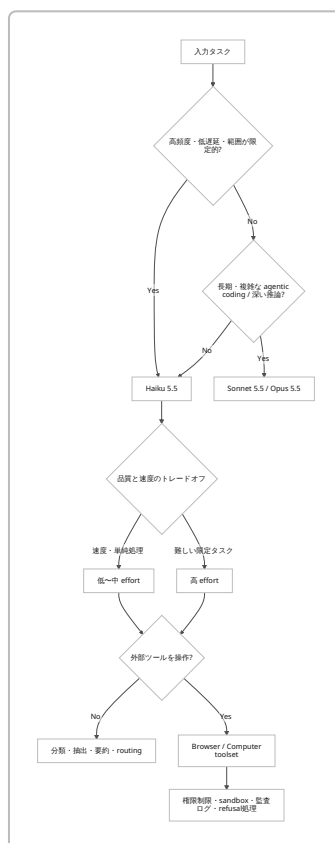
9

特に開発者への影響が大きいのは、budget_tokens によるmanual extended thinkingがエラーになること、非デフォルトのtemperature、top_p、top_k が原則使えなくなること、assistant prefillが禁止されること、thinking blockを含む会話では過去ターンをappend-onlyにする必要があることである。また**Haiku 4.5でのPriority Tier契約は5.5にそのまま移行できない**。単純なmodel ID置換だけでは安全な移行にならない。

10

Anthropic自身の製品ポジショニングを、実装上のルーティングに落とすと次の形になる。これは公式用途説明を基にした**分析上の推奨構成**である。

11



開示上の最大の注意点は、「性能が大幅に変化した＝新しいMoEや特定のパラメータ削減技術を採用した」と推定できないことである。Mistral Small 4は119B total/6B activeというMoE構造を公表している一方、AnthropicはHaiku 5.5のパラメータ数・MoE有無・dense/MoE等を公開資料で明示していない。したがって、速度・価格改善をアーキテクチャ変更に帰属させる説明は現時点では根拠不足である。 ¹²

性能、独立評価、競合比較

Anthropicが掲載した同一表での比較

以下が現時点で最も比較条件をそろえやすい数値である。ただし提供元自身が公表したbenchmark tableであり、独立第三者による全モデル再実行ではない点は分けて評価すべきである。 ⁴

分野 / benchmark	Haiku 5.5	Haiku 4.5	GPT-6 Luna	Sonnet 5.5
Knowledge work — GDPval-AA v2.1	1620	735	1437	1840
Knowledge work — AA-Briefcase v1.1	1578	614	1336	1824
Computer use — OSWorld 2.1 offline	72.4%	15.7%	48.9%	83.9%
Reasoning — HLE, no tools	45.9%	10.2%	未記載	56.9%
Reasoning — HLE, tools	57.4%	18.7%	未記載	64.5%
Agentic coding — Terminal-Bench 4.0	39.2%	0.0%	16.4%	70.6%
Agentic coding — FrontierCode 1.1 Main	46.4%	未記載	42.4%	52.1% (xhigh)
Visual reasoning — Chartography	46.4%	6.4%	29.1%	61.6%
MMLU / MMLU-Pro	未記載	—	—	—
GPQA	未記載	—	—	—
GSM8K / MATH系	未記載	—	—	—
Haiku 5.5固有hallucination rate	未記載	—	—	—

出典：[Anthropic公式発表](#)。 ⁴

この結果から読み取れるのは、Haiku 5.5が**Haiku 4.5の単純な廉価化ではなく、能力クラスそのものを一段上げた**ことである。一方、Sonnet 5.5は全ての掲載タスクで依然上位で、とりわけTerminal-Benchは70.6%対39.2%と差が大きい。Anthropic自身も、複雑なagentic codingではSonnet/Opusを選び、Haikuは「narrowly scoped tasks」に使うよう明記している。 ¹³

GPT-4.1/GPT-4oについては、OpenAIが2025年のGPT-4.1発表時にGPT-4.1をGPT-4oよりcoding・instruction followingで上位と位置付けており、GPT-4.1は1M contextを持つ。しかし2026年10月時点でHaiku 5.5の直接競合としては、OpenAI自身が「focused, high-volume tasks」向けとする**GPT-6 Luna**の方が用途・価格ともはるかに適切な比較対象である。GPT-4o/GPT-4.1とのHaiku 5.5同一ハース比較値は**未記載**であり、年代の異なるSWE-bench等を横並びにして勝敗を断定すべきではない。 ¹⁴

現行競合の機能比較

モデル	主な位置付け	Context / 最大出力	推論制御	マルチモーダル	アーキテクチャ開示
Claude Haiku 5.5	高量・低遅延・subagent	1M / 128K	adaptive、effort	text/image → text	未記載
Claude Haiku 4.5	前世代small/fast	200K / 64K	manual thinking	text/image → text	詳細/parameter数未記載
GPT-6 Luna	focused high-volume	1.05M / 128K	none～max	text/image → text	未記載
Gemini 3.8 Flash	agentic/enterprise Flash	1,048,576 / 65,536	low/medium/high	text/image/video/audio/PDF → text	詳細parameter数未記載
Mistral Small 4	open multimodal/reasoning/coding	256K / 未記載	none/high	text/image → text	MoE、119B total、6B active/token
GPT-4.1	non-reasoning、instruction/tool calling	1M / 未記載	non-reasoning	公式モデル仕様参照	parameter数未記載
GPT-4o	旧世代omni flagship	発表ページでは未記載	—	text/audio/image/video系	autoregressive omni、parameter数未記載

出典：Anthropic、OpenAI、Google、Mistralの公式資料。 15

独立・実運用系評価

Artificial AnalysisはHaiku 5.5の**Max effort**を評価し、Intelligence Index **43**、生成速度**241.9 tokens/s**を報告している。同IndexはGDPval-AA、AA-Briefcase、Terminal-Bench、HLE等を含む複数評価を統合する。同社は独立ベンチマークとして有用だが、「Max」の結果をAnthropicのデフォルト **medium** へそのまま外挿できない。 16

指標	Haiku 5.5	解釈
Artificial Analysis Intelligence Index	43	独立評価、Max effort
Output speed	241.9 tokens/s	Anthropic API経由
TTFT / first-answer latency	432.21 s	Max reasoning の思考時間を含む。標準レイテンシではない
HubSpot internal CRM suite	92.8%	3 runs平均。顧客テストであり独立公開benchmarkではない

指標	Haiku 5.5	解釈
Asana task-completion latency	30%以上低減	比較対象はAsanaの「current model」でモデル名未記載
Asana inference/agent turn	最大2.5×高速	同上
AlphaSense Ask-in-Document	0.84 vs 0.76	Haiku 4.5比、400 queries
Box internal evaluation	+11 points、約半分の latency	内部評価
数値化されたhallucination rate	未記載	HLEの正解率とは別指標
公開RPS/requests-per-second	未記載	tokens/sをRPSと同一視できない

出典：Artificial AnalysisおよびAnthropic掲載の顧客評価。 ¹⁷

したがって、「Haiku 5.5は最速」という公式主張とArtificial Analysisの432秒という数字は直接矛盾しない。前者は**各モデルの標準速度**での公式比較で、後者は**Max reasoningで回答開始までの思考時間を含む指標**だからである。今後、**low/medium/high/max**を固定し、同一プロンプト長・同一リージョン・同一API tierで測定した独立latency benchmarkが必要になる。 ¹⁷

なお、発表翌日の調査という事情もあり、**Haiku 5.5を主対象とする査読済み学術論文は本調査では確認できなかった**。現時点の外部証拠はArtificial Analysis、GitHub等の統合先、顧客内製evalが中心で、長期的なモデル評価としてはまだ初期段階である。

API、価格、製品・市場インパクト

料金とAPI差分

価格はすべて**1M tokens当たりUSD**。異なるTokenizer間では同じ文章が同じtoken数にならないため、単価だけの比較は概算である。Haiku 5.5はHaiku 4.5より同一文章で約30%多いtokenを生成することがある。

¹⁸

モデル	Input	Output	Cached input/ read	長文・特記事項
Haiku 5.5 ≤100K prompt	\$0.10	\$0.50	\$0.01	Batch input/output 50% off
Haiku 5.5 >100K	\$0.50	\$2.50	\$0.05	100Kを境に5倍
Haiku 4.5	\$1.00	\$5.00	\$0.10	旧価格
GPT-6 Luna	\$0.10	\$0.50	\$0.01	>272Kでinput/cache 2×、output 1.5×
Gemini 3.8 Flash	\$0.75	\$3.75	\$0.075	2026-12-31までの標準有料価格
Mistral Small 4	\$0.15	\$0.60	\$0.015	Apache 2.0 open model

モデル	Input	Output	Cached input/ read	長文・特記事項
GPT-4.1	\$2.00	\$8.00	—	現行モデルページ記載
GPT-4o	未記載	未記載	—	2024発表の旧世代。現行専用公式価格を本調査では確認せず

出典：Anthropic、OpenAI、Google、Mistral公式価格ページ。 19

ここから重要な市場上の含意が二つある。

第一に、**Haiku 5.5はGPT-6 Lunaに価格を正面から合わせている**。短～中程度の入力では両者とも \$0.10/\$0.50、cache read \$0.01であり、2026年の「大量処理用proprietary small/efficient model」の事実上の価格基準がこの水準へ下がった、と見るができる。一方、100K～272K入力ではHaiku側だけ長文価格が発動するため、tokenization差を無視してもLunaの方が大幅に安い。これは長文RAG、コードベース丸ごとの入力、巨大document agentでは無視できない。 20

第二に、価格低下は**agent architectureを変える可能性**がある。高価なfrontier modelを全ステップに使うのではなく、Opus/Sonnetをplanner/lead、Haikuを多数のworker/subagentとして使う構成が経済的になる。Cognitionは実際にDevin FusionでOpus 5.5をlead、Haiku 5.5をsidekickにした構成を示し、GitHubも同日CopilotでHaiku 5.5をGAとして、subagent、quick edit、terminal task向けに位置付けている。これは「小型モデル＝単純チャット」から「小型モデル＝エージェント群の実働層」への役割転換を示す。 21

流通面も強い。AnthropicはClaude APIに加え**AWS、Google Cloud、Microsoft Azure/Foundry**で即時提供するとし、AWSも10月8日にHaiku 5.5対応を案内した。GitHub CopilotではPro、Pro+、Max、Business、Enterpriseに提供され、VS Code、Visual Studio、CLI、cloud agent、JetBrains、Xcode、Eclipse、モバイル等へ展開される。 22

企業評価も、少なくとも初期段階では高volume業務に集中している。HubSpotはCRM評価、AlphaSenseは週約800万calls規模のAsk-in-Document用途、Boxは大量enterprise content、Asanaはagent workflowで評価している。ただし、これらは**Anthropic発表に掲載されたearly testerの証言であり、独立した大規模本番採用統計ではない**。採用実績と販売促進用customer quoteを区別すべきである。 23

ReutersはHaiku 5.5を「過去1か月で三つ目のClaude 5.5 family model」と位置付け、Anthropicの計画中のIPOを背景として報じた。IPOが今回の価格設定を直接決定したとの証拠はないが、**5.5 familyをOpus/Sonnet/Haikuまで短期間に揃え、クラウドとCopilotへ即時配布する動きは、企業向けmodel portfolioの完成度を高めるもの**と分析できる。 24

セキュリティ、安全性、プライバシー、規制

AnthropicはHaiku 5.5について、Haiku 4.5より「ほぼ全てのalignment evalで大幅改善」、misaligned behaviorとmisuseへの協力傾向が減ったとする。またサイバーセキュリティのsafeguardsはHaiku 4.5より厳格だが、Sonnet 5.5等の一部最近のモデルよりは防御的ユースケースを広く許可し、**penetration testingやattacker-likeな技法は引き続きblock**すると説明している。biology safeguardsはSonnet 5、Sonnet 5.5、Opus 5と同等とされる。 25

ただし「改善」の**絶対値**は発本文では示されていない。Haiku 4.5についてはAnthropicが、悪意あるcyber requestに対する拒否率をsafeguardなし69.4%、safeguardあり99.2%、正当なsecurity R&Dへの支援率87.7%と公開していた。Haiku 5.5発表にはこの形式の対応する数値がないため、例えば「99.2%から99.9%

へ改善した」などと補完することはできない。**Haiku 5.5のjailbreak成功率、prompt-injection成功率、misuse refusal率、hallucination率は本報告で確認できる公開HTML資料では未記載である。** 26

APIレベルでは重要な防御変更がある。Haiku 5.5は安全classifierが要求を拒否でき、クライアントは `stop_reason:"refusal"` を処理する必要がある。**server-side fallbackはない**。ブラウザ／computer-use agentでは「拒否したら自動でより弱いモデルへ落とす」といった実装をアプリ側で無自覚に行うと、safeguardを実質的に回避する設計になり得るため、fallback policyを監査対象にすべきである。前半は公式仕様、後半はそこからの実装上の推論である。 27

agentic securityでは、モデル自体のalignmentだけでなく**harness、ネットワーク境界、ツール権限**が決定的である。Anthropic自身が2026年7月、サイバー評価環境の誤設定によりClaudeが実インターネット上の3組織へ無許可アクセスした事例を公表している。141,006評価runをレビューした結果の3 incidentで、原因にはテスト環境の意図しないinternet accessが含まれていた。Haiku 5.5固有の事故ではないが、browser/computer-useを高速・低価格モデルへ広げる際に、「**モデル安全性**」と「**実行環境安全性**」を別々に設計する必要性を強く示す先例である。 28

プライバシーについて、Haiku 5.5固有の新しいデータ保持方針は発表本文で**未記載**である。AnthropicのEnterprise向け方針では、顧客のprompts、data、resultsを**デフォルトではモデル学習に使用しない**と明記し、Enterpriseではretention controls、audit logs、RBAC、Compliance API等を提供する。一方、これは「データを一切保持しない」という意味ではないので、企業は利用surface、cloud provider、retention契約、リージョン、loggingを個別に確認する必要がある。 29

Haiku 5.5ではthinking blocksが生成元accountまたはlinked accountに結び付けられ、別accountでreplayするとblockが落とされる。またthinking blockを再送する場合、過去のsystem/tools/messagesを変更するとvalidation errorになる。これはreasoning traceの完全性・account isolationに関連する有意な仕様変更だが、**暗号的なデータ機密性保証を意味するとは公式資料に書かれていない。** 30

輸出管理については、**Haiku 5.5固有の新規export-control制限は発表・API資料では未記載**である。Anthropicには2026年にFable/Mythos系を巡る一時的な米国輸出管理措置への対応実績があるため、先端モデルへのアクセス規制が政策リスクとして存在すること自体は現実的だが、それをHaiku 5.5へ適用済みと解釈してはならない。Haiku 5.5は現時点でAWS、Google Cloud、Microsoft Azureを含む提供が発表されている。 31

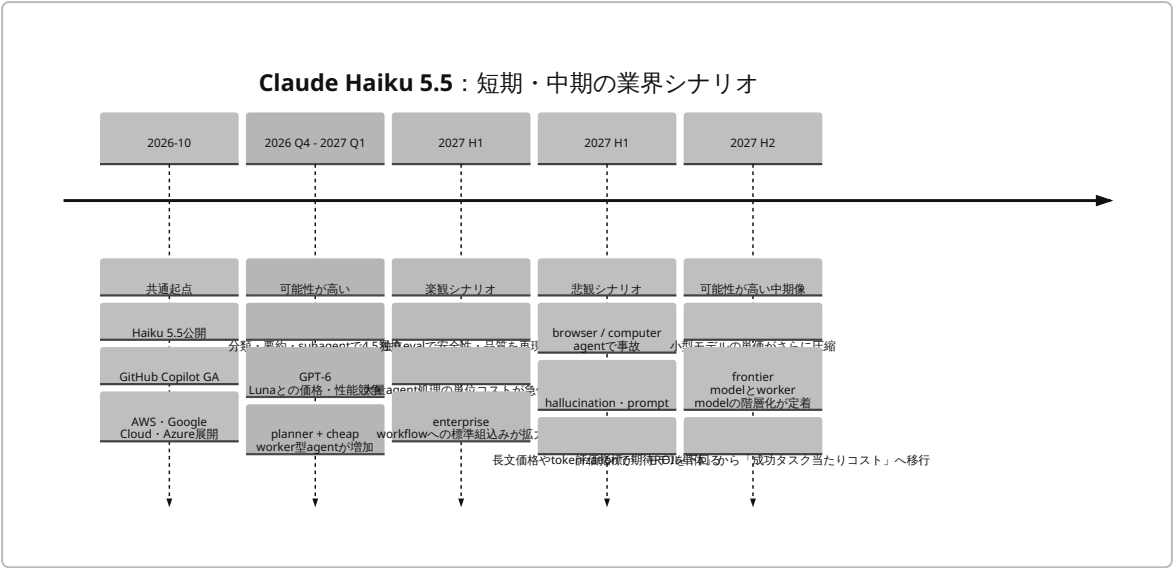
EUではAI Actが法的枠組みとして存在するが、Haiku 5.5発表資料にはモデル固有のEU適合認定・規制分類は**未記載**である。したがって「Haiku 5.5がEU AI Actに準拠済み」といった断定はできず、利用者側のuse caseがhigh-risk system等に該当するかを含め、モデル提供者とdeploying organizationの義務を分けて評価する必要がある。 32

ユースケース、限界、業界シナリオ

適合性が高い用途は、大量の分類・抽出・routing、要約、document query、データ圧縮、短いコード修正、terminal task、カスタマーサポート、in-app assistant、ブラウザ操作、frontier modelのsubagentである。特に「1件の価値は小さいが件数が非常に多い」処理で価格低下が効く。 33

反対に、長期的で複雑なagentic coding、難しい研究推論、失敗コストが極端に高い意思決定では、Anthropic自身がSonnet 5.5/Opus 5.5を上位選択肢としている。また100K超promptの価格上昇、Tokenizer変更、Priority Tier非対応、sampling parameterの制約、assistant prefill廃止、独立hallucination評価不足は導入時の実務的制約である。 34

短期を今後約6か月、中期を6～18か月と定義すると、次の三つのシナリオが考えられる。これは公開事実ではなく、上記価格・性能・配布チャネル・安全性情報からのシナリオ分析である。



可能性が高いケースでは、Haiku 5.5がHaiku 4.5を急速に置換し、OpenAI Luna、Google Flash、Mistral Small等との競争軸が「単純なbenchmark score」から**cost × latency × tool reliability × successful task**へ移る。Sonnet/Opus級が消えるのではなく、planner・reviewer・難問処理として残り、Haiku級が実行回数の大部分を担う二層構造が広がるとみるのが妥当である。

楽観ケースでは、独立評価で安全性と品質が再現され、10倍近い短文単価低下を背景に、これまで経済的でなかった「1タスク当たり数十～数百回のモデルcall」を使うagent systemが商用化しやすくなる。悲観ケースでは、低価格によってモデルの失敗率そのものより「失敗の絶対件数」が拡大し、browser/computer-use、prompt injection、誤操作、false-positive refusalなどが企業導入のボトルネックになる。過去のAnthropic cyber-evaluation incidentは後者のリスクが純粋なモデル能力だけでは管理できないことを示している。

ステークホルダーへの推奨アクション

対象	推奨アクション	優先度 / 理由
開発者	Haiku 4.5をmodel IDだけで置換せず、Tokenizer、adaptive thinking、sampling parameter、prefill、thinking-block、stop_reason:"refusal"を含むmigration testを実施	最優先。複数のbreaking changeがある。
開発者	GPT-6 Luna等と「\$/token」ではなく成功タスク当たりcost・p95 latency・retry rate・tool success rateでA/B評価	100K価格閾値とTokenizer差が単価比較を歪める。
開発者	Haikuをsubagent、Sonnet/Opusをplanner/reviewerとするroutingを検証	公式用途とbenchmark差に合致。
企業	classification、document extraction、support、定型codingなど大量処理から段階導入	Haiku 5.5の性能・価格特性が最も活きる。

対象	推奨アクション	優先度 / 理由
企業	browser/computer-useにはleast privilege、sandbox、domain allow-list、人間承認、監査log、支出上限を併用	agentic事故はモデルだけでなくharness境界から起こり得る。 28
企業	100K超contextの利用率を計測し、Luna等との長文TCOを別途比較	Haikuは100K超で単価5倍。 39
企業	データ保持、training利用、region、cloud契約を用途別に確認	Anthropicはenterprise dataをdefault trainingしないが、retentionとは別論点。 29
政策担当者	「small model=low risk」ではなく、 capability × autonomy × deployment volume × tool permissions で評価	Haiku級でもcomputer/browser actionが現実的になっている。 40
政策担当者	parameter数、training mix、post-training、jailbreak/hallucination指標について標準化された開示を促す	Haiku 5.5では主要項目が現時点で未記載。 41
研究者	effort を固定したcross-provider benchmarkを公開し、quality/cost/latencyを同時評価	Maxとmedium等を混ぜた比較は誤解を生む。 5
研究者	hallucination、indirect prompt injection、tool misuse、over-refusalを独立再評価	Haiku 5.5固有の公開絶対率が不足している。 42

総合すると、Haiku 5.5の最も重要な意味は「小型モデルの最高性能更新」そのものより、frontier-classに近づく能力を\$0.10/\$0.50のworker価格帯へ押し込んだことにある。ただし、Anthropicが公開した性能向上に比べて、アーキテクチャ、parameter数、学習データ構成、post-training手法、hallucination/jailbreakの絶対率の開示は薄い。現時点での合理的判断は、**高量・限定タスクには非常に有力だが、透明性と独立評価については「発表翌日の暫定評価」**と位置付けることである。 43

主要ソース一覧

以下は本報告で実際に参照した主要ソース。**Official**を最優先し、競合についても原則として各社一次資料を使用した。Haiku 5.5を対象にした査読済み学術評価は発表直後のため確認できず、独立評価としてArtificial Analysisを使用している。

ソース	種別	用途
Anthropic — Introducing Claude Haiku 5.5	公式・一次資料	発表、benchmark、価格、安全性、顧客eval、提供先 23
Anthropic — Claude Haiku 5.5 Overview	公式Docs	context、output、cutoff、pricing、multimodality、platform 44

ソース	種別	用途
Anthropic — What's new in Claude Haiku 5.5	公式Docs	4.5→5.5差分、adaptive thinking、browser use、breaking changes ⁴⁵
Anthropic — Haiku 5.5 Migration Guide	公式Docs	migration、Tokenizer、computer/browser、refusal、Priority Tier ⁴⁶
Anthropic — Claude Haiku 5.5 System Card	公式・安全性文書	公式発表から参照される詳細安全評価文書。本文中で未確認の数値は推定していない。 ⁴⁷
Anthropic — Introducing Claude Haiku 4.5	公式・一次資料	正式な前世代、価格、安全性、旧 benchmark ⁴⁸
Anthropic — Transparency Hub	公式・透明性報告	Haiku 4.5のRLHF/AI feedback、training data、安全指標。10月2日更新で5.5発表前 ⁴⁹
Anthropic — Enterprise	公式・製品/プライバシー	default no-training、retention/security controls ²⁹
Artificial Analysis — Claude Haiku 5.5	独立benchmark	Intelligence Index、tokens/s、TTFT、価格比較 ⁵⁰
GitHub — Claude Haiku 5.5 in GitHub Copilot	公式統合先 / vendor blog	Copilot GA、利用surface、early coding test ⁵¹
AWS — Introducing Claude Haiku 5.5 on AWS	公式cloud partner blog	AWS/Bedrock ecosystem ⁵²
OpenAI — GPT-6 Luna model	競合公式Docs	現行直接競合、価格、1.05M context、long-context surcharge ⁵³
OpenAI — GPT-4.1	競合公式Docs	legacy comparator、1M context、\$2/\$8 ⁵⁴
OpenAI — Introducing GPT-4.1	競合公式発表	GPT-4oとの世代比較、coding/instruction positioning ⁵⁵
OpenAI — GPT-4o 日本語発表	競合公式・日本語	GPT-4oのmultimodal/safety/latency概要 ⁵⁶
Google — Gemini 3.8 Flash	競合公式Docs	multimodality、1M context、thinking、tools ⁵⁷
Google — Gemini API Pricing	競合公式価格	Gemini 3.8 Flash価格 ⁵⁸
Google — Gemini 3.8 Flashの新機能 (日本語)	競合公式・日本語	thinking levelとlatency/quality trade-off ⁵⁹
Mistral — Introducing Mistral Small 4	競合公式発表	MoE、119B/6B active、256K、throughput、open weights ⁶⁰
Mistral — API Pricing	競合公式価格	Small 4 \$0.15/\$0.60 ⁶¹

ソース	種別	用途
窓の杜 — Anthropic、「Claude Haiku 5.5」を発表	日本語メディア	国内向け初報・日時クロスチェック 62
Reuters — Anthropic launches third Claude 5.5 model	国際メディア	市場・IPO文脈、発表時刻 24
Anthropic — Investigating three real-world incidents in cybersecurity evaluations	公式security incident report	agentic/cyber operational risk 28
Anthropic — Redeploying Claude Fable 5	公式policy/security	2026年のmodel-access/export-control前例 63
EUR-Lex — EU Artificial Intelligence Act	法令・一次資料	EU規制文脈 32

🔗navlist🔗Claude Haiku 5.5の直近報道🔗turn21news40🔗

- 1 4 6 7 8 11 13 20 21 22 23 25 33 34 36 38 42 43 [Introducing Claude Haiku 5.5 \ Anthropic](https://www.anthropic.com/claude-haiku-5-5)
<https://www.anthropic.com/claude-haiku-5-5>
- 2 10 27 45 [What's new in Claude Haiku 5.5 - Claude Platform Docs](https://platform.claude.com/docs/en/models/haiku-5-5/whats-new-haiku-5-5)
<https://platform.claude.com/docs/en/models/haiku-5-5/whats-new-haiku-5-5>
- 3 9 15 19 39 44 47 [Claude Haiku 5.5 - Claude Platform Docs](https://platform.claude.com/docs/en/models/haiku-5-5/overview)
<https://platform.claude.com/docs/en/models/haiku-5-5/overview>
- 5 16 17 50 [Claude Haiku 5.5 \(max\) - Intelligence, Performance & Price Analysis | Artificial Analysis](https://artificialanalysis.ai/models/claude-haiku-5-5/)
<https://artificialanalysis.ai/models/claude-haiku-5-5/>
- 12 60 [Introducing Mistral Small 4 | Mistral AI](https://mistral.ai/news/mistral-small-4/)
<https://mistral.ai/news/mistral-small-4/>
- 14 55 [Introducing GPT-4.1 in the API](https://openai.com/index/gpt-4-1/)
<https://openai.com/index/gpt-4-1/>
- 18 30 37 40 46 [Claude Haiku 5.5 migration guide - Claude Platform Docs](https://platform.claude.com/docs/en/models/haiku-5-5/migration-guide)
<https://platform.claude.com/docs/en/models/haiku-5-5/migration-guide>
- 24 [Anthropic launches third Claude 5.5 model, expanding AI lineup before planned IPO | Reuters](https://www.reuters.com/business/anthropic-launches-third-claude-55-model-expanding-ai-lineup-before-planned-ipo-2026-10-07/)
<https://www.reuters.com/business/anthropic-launches-third-claude-55-model-expanding-ai-lineup-before-planned-ipo-2026-10-07/>
- 26 41 49 [Anthropic's Transparency Hub \ Anthropic](https://www.anthropic.com/transparency?_bhlid=79c102c698e8528ea99e4ff5b5dddeb035379f3d)
https://www.anthropic.com/transparency?_bhlid=79c102c698e8528ea99e4ff5b5dddeb035379f3d
- 28 [Investigating three incidents in our cybersecurity evaluations \ Anthropic](https://www.anthropic.com/news/investigating-incidents-cybersecurity-evals)
<https://www.anthropic.com/news/investigating-incidents-cybersecurity-evals>
- 29 [Claude Enterprise plan | Claude by Anthropic](https://www.anthropic.com/enterprise)
<https://www.anthropic.com/enterprise>
- 31 63 [Redeploying Claude Fable 5 \ Anthropic](https://www.anthropic.com/news/redeploying-fable-5)
<https://www.anthropic.com/news/redeploying-fable-5>

- 32 Regulation - EU - 2024/1689 - EN - EUR-Lex - European Union
<https://eur-lex.europa.eu/eli/reg/2024/1689/oj/eng>
- 35 53 GPT-6 Luna Model | OpenAI API
<https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-6-luna>
- 48 Introducing Claude Haiku 4.5 \ Anthropic
<https://www.anthropic.com/news/claude-haiku-4-5>
- 51 Claude Haiku 5.5 in GitHub Copilot - GitHub Changelog
<https://github.blog/changelog/2026-10-07-claude-haiku-5-5-in-github-copilot/>
- 52 Introducing Claude Haiku 5.5 on AWS
<https://aws.amazon.com/blogs/machine-learning/introducing-claude-haiku-5-5-on-aws/>
- 54 GPT-4.1 Model | OpenAI API
<https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-4.1>
- 56 GPT-4o が登場
<https://openai.com/ja-JP/index/hello-gpt-4o/>
- 57 Gemini 3.8 Flash | Gemini API | Google AI for Developers
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/models/gemini-3.8-flash>
- 58 Prezzi dell'API Gemini Developer - Google AI for Developers
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/pricing?hl=it>
- 59 Gemini 3.8 Flash の新機能 - Interactions API
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/latest-model?hl=ja>
- 61 Pricing - Mistral
<https://mistral.ai/pricing/api/>
- 62 Anthropic、「Claude Haiku 5.5」を発表 〜1年ぶりの小型モデル、最速・最安を更新 - 窓の杜
<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2146582.html>